

# 『あっとほーむ』なステージに

## 幸せと喜びの お手伝い

梅雨に入り太陽と青空の恋しい季節になった。雨に濡れた紫陽花がいつそう輝きを増し私たちの眼を楽しませてくれる。ここ「四季文化館みの〜れ」では梅雨の憂鬱な気分もハッピーな気持ちに変わるようなイベントを企画している。今回、新しくリニューアルした光と風のステージCue（キュー）プロジェクトメンバーで羽鳥地区にお住まいの大久保雅子さんを取材する。



「住民参加型の文化館が近くに来たことはとても素晴らしい事だと思うし、今もなお活動が続いていることが素敵だと思う」と語る大久保さん

光と風のステージCueプロジェクトメンバー

# 大久保雅子さん

みの〜れと共に生活するスタイル

# Minole Life

のすすめ

No.37

大久保さんはみの〜れが大好きで色々なイベントがある度に参加できるときは足を運んでいた。一年ほど前からみの〜れ支援隊の隊員として参加するようになった。

今年3月、50回目を迎えた「光と風のステージ」が新たにリニューアルすることになり、あるとき知人から「光と風のステージの実行委員をやってみないか？」と声をかけられ、簡単にOKを出してしまった。性格のおおらかな大久保さんは、「誰も初めは分からないところからスタートするので大丈夫だろうと思った」と振り返る。「光と風のステージCueプロジェクト」は、森に囲まれた劇場「四季文化館みの〜れ」の風のホール・風の広場をライブハウ

スのように変身させ、来ていただいたお客様に素敵な空間で心のこもったライブを楽しんでもらおう・・・と3月頃から新メンバーで活動を始めた。大久保さんは「知らない方と顔見知りになれたことが良かった。また、段々と仕上がっていくことに喜びを感じる」と話す。

大久保さんはひたちなか市にある結婚式場でブライダルの仕事をしており週末は大忙しだ。新郎新婦の最高に幸せな日のお手伝いが高に幸せなことに幸せを感じるという。仕事が休みの日には趣味のパッチワークをしたり、お友達にプレゼントをする。また、お友達にプレゼントするたにパッチワークをしたり、昨年少ししか咲かなかったバラが今年は沢山咲いてくれて嬉しい。また、「音楽を聴いたり、舞台を観るのが大好きでみの〜れに足を運ぶことが多くなった」と話す。

プロジェクトのメンバーで水戸にあるライブハウス「プロジェクト」を見に行ったり、ドリンクサーブスもあるのどのようないドリンクを用意するのか、紙コップはどうするか等、細かいところにまで気配りをして、来ていただいたお客様に最高のおもてなしが出来るよう準備を進めている。「何も分からない状態でのみの〜れに来て、手探りの状態で苦労しているけど楽しさが沢山ある」と話す。

光と風のステージCueの魅力はプロジェクトメンバー一人一人が力を注いで作り出すアットホームなライブハウス！「来てよかった」という気持ちで帰ってもらえるようなステージです。

沢山のご来場お待ちしております。

(藤田佐知子)